

令和3年白川町議会第3回定例会 町長所信表明（令和3年9月21日）

令和3年白川町議会第3回定例会の開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

私は、このたびの白川町長選挙におきまして、当選の栄に浴し、9月13日をもちまして白川町長に就任させていただきました。選挙において過半数の得票をいただくことができたとは言え、選挙結果を厳粛に受け止め、前任者をはじめ白川町を築き上げてこられた諸先輩方のまちづくりへの思いをしっかりと受け継いでまいります。

町民の皆様から支持をいただくことができたのは、あくまでも政策中心の選挙を行い、町民皆様の声を幅広くお聞きし策定したマニフェストが広く受け入れられたものと考えます。

今回の町長選挙を通じて、私が一貫して町民の皆様に訴えてまいりましたのは、本町の将来の明確なビジョンの再構築、積極的な情報公開、そして真の協働による住民自治のまちづくりであります。その内容を政策体系に取りまとめたものが、「子ども、孫たちの代に豊かなまちを残すため」と題したマニフェストであります。

「急速に進む人口減少の中、子ども・孫たちの代に豊かなまちを残すため、時代の動きに対応した新たな発想を積極的に取り入れる」を基本理念に、5本の柱、25の項目により構成しています。所信表明にあたり、施策の5本の柱に沿って特に傾注する内容についてご説明申し上げます。

第1の柱、豊かな町づくりでは、

本町に適した農業の在り方を研究し、スマート農業などの推進を図るとともに、将来を見越して茶生産組合の合併を推進します。林業においては山林所有者の素材の取引価格向上と、建築等関連産業従事者の所得向上を目指し、高付加価値化に必要な整備を行います。あわせて、林道、作業道の整備、機械化と効率化を支援し、低コスト化による林業経営の基盤を整備することで、儲かる農業、儲かる林業の実現に努めてまいります。

また、コロナ禍での疲弊が危惧される商工関係においては、既存の地域通貨である地域振興券の活用や商工会との連携により、地産地消と地元消費者の町内回帰を進めてまいります。

第2の柱、子育て・教育環境の充実したまちづくりでは、

タブレットを活用したプログラミング学習や、地域の良さを発見するための「ふるさと教育」を進め、個々の可能性を発掘できるような教育の推進を図ります。また、学校の再編については、地域の合意形成を得ながら検討を進め、将来的には新校舎の建設に向けた計画準備を行い、教育施設の適正な管理を図ってまいります。教育委員会において教育長を中心として推進していく所存であります。

第3の柱、人生100年時代に向けたまちづくりでは、

若い世代から生活習慣病予防に向けた各種健診を受診しやすい環境づくりと、受診意識の向上を図る啓発活動を充実させ、健康寿命延伸のための施策を講じてまいります。また、高齢者の持つ技術を活かすため、シルバー人材センターへの登録、活用を推進し、生きがいをもっていつまでも働ける生涯就労のための環境整備を進めてまいります。

第4の柱、持続可能なまちづくりでは、

町内に数多くある空き家をはじめ、学校統合により廃校となった施設、新庁舎建設後の現庁舎や、使われていない町有地などの遊休資産の利活用を進め、あわせて公共施設については、その耐用年数や利用状況を勘案し、廃止も視野に入れた計画的な維持管理を進めてまいります。

防災面では、その中核的な存在である消防団の負担軽減と処遇改善を図り、組織としての能力の向上を目指すため、機材の見直しと訓練内容について消防団幹部と調整を行いながら進めてまいります。あわせて上麻生防災をはじめとしたハード面の強化についても、関係機関と連携し早期完成に向け財源確保等に努めてまいります。

公共交通については、様々なご苦勞の中で今日まで進められてきた体系を基本として、その時代にあった、その時々ニーズに対応したシステムを推進してまいります。

第5の柱、自立したまちづくりでは、

既存の広報紙、ケーブルテレビの充実はもちろん、様々な媒体を用いた積極的な情報発信により、若者から高齢者まで幅広く情報共有を進め、あわせて町政報告会の開催や各種媒体による意見聴取により、直接かつ広く町民の声に耳を傾け、これを町政に反映してまいります。

新庁舎の建設にあたっては、町民に直接影響のある窓口業務と、業務全般の見

直しを行い、ワンストップサービスを目指し、ランニングコストを考慮した施設整備を推進してまいります。また、ICTの活用による電子申請等を進め「行かない書かない役場」の実現と、保健福祉、商工、農林業などあらゆる分野でのICT化についても検討を進め、チャレンジしてまいります。他にも、町民以外の白川ファンも巻き込んで、人と人をつなぐことで生まれる収入や関係人口の創出を目指します。

私がこの任期中に取り組むべき施策は、このマニフェストに集約されています。これに従って職務を全うし「明日の白川町のために」舵を取ってまいりたいと思っております。

本日の所信表明にあたり、あらためてマニフェストの骨格をお伝えし、皆様のご理解とご協力をお願いするものでございます。